

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社コヤマ

村山市にある株式会社コヤマの菅藤<sup>かんと</sup>直輝さん取材しました！

菅藤さんは山形大学工学部を卒業した後、2013年に入社しました。

現在は第2製造部2課で、課長を務めています。

### (1) 仕事内容編



——現在の仕事内容について教えてください。

現在は管理職としてのいろいろな仕事があり、なかなか「これ」とは言い切れないのですが、基本的に製造ラインの管理をしています。製品を作るために必要な資材や人員を準備して、管理する仕事がほとんどです。他には、生産設備の管理や保全も業務の一部になっています。

——今は課長ですが、入社してからどのような経緯で今のポジションについたのですか。

1年目は現場に入って、実際にもものづくりに携わるというのが当社の方針です。もともと生産技術を志望して入社して、ちょうど1年たった頃に配属になりました。生産技術という部署は、生産設備の管理や新製品の試作、生産ラインの立ち上げをするところです。その後、紆余曲折を経て、現在の製品を主に担当するようになり、そこからは担当する生産ラインがだんだん増えてきた感じです。

——課長としてのやりがいと、大変なところを教えてください。

基本的にはお客様の納期に応えることが一番大事なので、それに向けた人員の準備や生産設備の管理をしています。想定通りに進み、きちんとお客様の納期に応えられたときにやりがいを感じますね。

大変なのは、いろいろな不具合が一気に発生したときですね。そういうことは重なるもので…。たくさんの生産ラインで、いろいろな問題が起きたときに、優先順位をつけて処理するのは大変ですね。

——問題に対応するのが課長の仕事なのですか。

例えば不具合があったときに、原因を探るのはいろいろな人にお願いしますが、最終的にその不具合をどう対処していくかを判断するのは課長の仕事です。



——大学の時の専攻と、今の仕事とは関わりがありますか。

大学では工学部情報科で、プログラミングを専攻していました。正直に言って、当時は仕事でプログラミングはやりたくないと思っていました(笑)。

ですが、今思えばプログラミングはものづくりの大部分に関わっています。生産設備を動かすのもプログラミングです。それに今はDXの時代で、プログラムの1つや2つ書いて当たり前になってきており、大学の専攻が今はとても役に立っていると思います。

また、プログラミングは論理的思考を表現したものであり、さらにそのプログラムをいかに効率的にできるかだと思います。「論理的に考え進める」という考え方がとても大事だと思います。

——**機械保全技能士 2 級や品質管理検定 2 級など、様々な資格を取得されています。取得に対する会社からの支援はあるのでしょうか。**

(菅藤さん) 1 回目の受験料は会社持ちでした。1 回で合格すればいいのですが、2 回目以降は自分持ちになるので、落ちすぎてお金がかかったこともありました…。

(人事担当の高橋さん) 菅藤さんが受験したのは、2 回目は自分で払ってねって時代か。今は、2 回目の受験料は会社で半額出していますよ。

(菅藤さん) ちょっとお金返してほしいです(笑)。

——**この資格は業務に絶対に必要なものでしょうか。**

資格がなくても大丈夫ですが、持っていれば知識が使えていいと思います。



——**学生のときに取っておいたほうがいいですか。**

品質管理検定は、統計的な考え方ですので、当社に限らず幅広く使えて、あってもいいと思いますよ。

ですが学生だと、ピンとこないかもしれません。統計学の授業を受けても、「これ何に使うの」ということがたくさんありますよね。実際に現場に来て、「これはこういうことだったんだ!」と分かります。中身をきちんと理解しようとする、経験してからのほうが分かりやすいです。

## (2) 職場編

——コヤマに就職を決めた理由を教えてください。



私は生まれも育ちも、隣の尾花沢市ですが、なんとなく山形で就職したいと思っていました。なるべく地元から通える範囲で探したところ、コヤマをリクナビで見つけて応募しました。高校が村山市内にあったこともあり、村山市にあるコヤマになんとか親近感がありました。実家から通える範囲で、山形から世界を相手に勝負している、というところが良いと思い、就職しました。

——山形が良いと考えた理由はありますか。

なんとなく地元になりたい、というのがあったんでしょうね。今も地元の家を建てて住んでいるので。ですが、正直わかりません。地元を出ていくチャンスはいくらでもあったような気がするので、それでも残ろうとしたのは長男の性なのかも(笑)。

——コヤマに入社して良かったことはありますか。

私なんかを評価していただいている、というところが一番良かったと思いますね(笑)。あとは、休みが取りやすいところです。

——育休を取得されたのですね。どれくらいの期間ですか。

(菅藤さん) トータルで1か月です。まず2週間休んで、復帰して2週間働いて、そして2週間休んで、というかたちです。

(高橋さん) 今年から育児休業の制度が変わって、男性向けの育児休業が分割して取得できるという産後パパ育休制度ができたところですよ。

課長という立場で、さすがに1か月まるまる休むことは難しいと菅藤さんも思っていたようでしたが、「せっかく新しい制度ができたから、使ったらいいよ」と勧めました。

——育休を取りやすい雰囲気だったのですか。

(菅藤さん) 男性の先輩が取得していました。前例があるので、取りやすいと思いました。

(高橋さん) 男性が初めて育休を取得したのは、17年くらい前になります。それから男性の育休はしばらくなかったのですが、菅藤さんの先輩が1人目と2人目の時に育休を取って、そして菅藤さんが取りました。

女性は、みんな普通に取得して普通に戻ってきます。「100%取得 100%復帰」を17年間継続しているので、もともと育休を取りやすい雰囲気はありました。男性も、これからは普通に育休を取得するものだと思っています。

——育休を取ってみて、いかがでしたか。

大変でした。育児もそうでしたが、育休を取るまでの段取りも、休み明けの仕事も大変でした。ただ、1か月毎日、子どもといられるのはなかなかできない経験なので、取得して良かったです。

——休んだ仕事のフォローはどうしたのですか。

基本的には何かあったら上司に対応してもらいました。それに、育休を機に、ルーティンワーク的な仕事をプログラムで半自動化して、誰にも振らずにできるようになったこともあります。そういう意味では、そこで頑張ったので、今の仕事がちょっと効率化していますね。



※取材の日、育休中の社員が赤ちゃんと一緒に来社していました！

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【朝礼】

現場でラジオ体操、朝礼を行います。  
製造の進捗状況等を現場から吸い上げます。



#### ●8:30 【顧客とのミーティング①】

製造の進捗、生産性等の確認をします。

#### ●9:30 【顧客とのミーティング②】

製造の進捗、生産性等の確認をします。

#### ●10:00 【サンプル作成】

設備の立ち上げに向けて、必要なサンプルを試作します。



#### ●12:30 【お昼休憩】

社員食堂で、妻が作ってくれたお弁当を食べます。

#### ●13:00 【資料、見積もり作成】

会議に向けて資料作成や新規製品の見積もりを作成します。

#### ●15:00 【現場の業務改善 QC（品質管理）活動】

現場で行っている QC 活動の会合に参加し、内容をフォローします。

●17：00【進捗状況確認】

本日の製造状況、進捗を確認します。



●17：10【退勤】

退勤後は、子どもをふろに入れた後、ご飯を食べながら晩酌します。

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域での暮らしはいかがですか。



私の出身が尾花沢、妻が東根なので、お互いに実家が近くて良いと思います。最近あまり行けていませんが、モンテディオ山形の試合をよく見に行くので、スタジアムがある天童まで近いのもいいですね。

——1週間の勤務日はどう決まっているのですか。

(菅藤さん) 基本的にはカレンダー通りですが、たまに土曜日出勤があります。

(高橋さん) 日祝は確実に休みで、お盆と年末年始はそれなりに長期休暇がとれます。休日を増やしてきましたので、土曜の出勤日はだいぶ減りました。

(菅藤さん) 時々ある土曜日出勤が辛い(笑)。



——土曜でなければできない仕事があるのですか。

（高橋さん）改善活動といって、社員が 6 人くらいのグループに分かれて職場の課題を発見・解決する活動をしています。年に 2 回、土曜日に発表会をしています。発表内容に対して全社員が採点して順位を決めて、上位には商品券を渡します。平日だと、お客様から連絡が入ったりして全員参加が難しくなりますので、土曜日を利用しています。

——他にも会社全体のイベントはありますか。

（菅藤さん）この前、4 年ぶりに会社全体でのビアパーティーが開催されました。他にも部署ごとの飲み会や、コロナ以前はボウリング大会もありましたね。

（高橋さん）10 年に 1 回くらい社員旅行に行きます。直近では創立 40 周年記念を兼ねて、費用は全部会社持ちで、USJ に 1 泊 2 日で行きました。

## (5) まとめ編

### ——入社して成長したと感じることはありますか。

やはり、コミュニケーション能力ですね。管理職として、部下に指示するので必要になってきます。経験を積まないと、なかなか成長できないところだと思います。

### ——これからの目標はありますか。

(菅藤さん) 部下を育てることです。自分で考えて動けるような部下を育てたいです。そのために、適当に指示するのではなく、こちらで仕事を整理し、渡してあげることを心がけています。

(高橋さん) 菅藤さんは今、60人くらい部下を抱えています。先日、社長が代替わりしたこともあり、菅藤さんが担当する部門が広がって、一気に部下の人数が増えました。



### ——就活生へ一言お願いします！

私が就活していた頃から10年も経っていて、今は何もかも変わっていると思うので、参考になるかわかりませんが…。私が就活したとき、なんとなくリクナビに登録して、その世界の中だけで就活していたので、気づけなかったことがあると今になって思います。会社って意外といっぱいあるじゃないですか。リクナビにある会社しか見ていなかったの、ちょっと残念だったと思うことがあります。

今はSNSも活用できますし、就活では、情報を掘り当てていくことが一番大事だと思います。「意外とこんなところにこんなにいい会社がある」ということが増えます。視野を広げて就活するのが大事ですね。

——コヤマではインターンシップを開催していますか。

（高橋さん）主にリクナビを通じて、インターンシップを募集しています。1day で行う場合は、対面とオンラインの両方があります。主なプログラムは、会社概要の説明と、社内見学、そして業務改善の体験をしてもらっていて、社員との座談会もあります。5 日間のインターンシップも受け付けていますので、問い合わせただければと思います。

——ありがとうございました！

取材に応じていただいた菅藤さんは、若くして課長になられたにも関わらず、とてもフランクな雰囲気です。早く質問にお答えいただきました。高橋さんも、とても明るくて元気な雰囲気が印象的で、社内の雰囲気の良さが伝わってきました！

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部  
和田佳、和田大志、安部椋大】



## 株式会社コヤマ

---

★若手社員が活躍中！ワークライフバランスの取れた会社です。

社員の 6 割が 20 代、30 代。社員の 7 割が女性の当社。仕事と家庭の両立支援に力を入れており、独自の福利厚生制度が充実。女性の育児休暇取得率復帰率 100%を 10 年以上継続しています。男性社員も育児休暇取得しており、今年は大卒男性社員 2 名が育児休暇を取得しました。

★平成 20 年度 「子どもと家族を応援する日本」内閣府特命担当大臣（少子化対策）表彰

- ・所在地 山形県村山市大字大久保甲 1260 番地
- ・設立 昭和 51 年 4 月
- ・従業員数 148 名（男性 44 名、女性 104 名）
- ・事業内容 電気機械器具製造
- ・URL <https://koyama64.wixsite.com/website>

